

FAO/WHO合同食品規格計画（コーデックス委員会） バイオテクノロジー応用食品特別部会の開催について

1 開催目的

遺伝子組換え食品に関する新たな課題に対応する国際規格及びガイドライン等を作成するため、平成17年度から平成20年度にかけて、日本において国際会議「コーデックス委員会バイオテクノロジー応用食品特別部会」を開催することとする。

2 議題

本国際会議においては、遺伝子組換え食品の研究開発の対象範囲が、前回（平11～14年度）のバイオテクノロジー応用食品特別部会でガイドラインを作成した「植物」、「微生物」から、「動物」や「新たな特性を付加した植物」に拡大している状況等を踏まえ、新たな課題について、科学的知見及びリスク分析に基づいた国際規格及びガイドライン等の作成に取り組む予定である。

なお、具体的な検討対象課題は、平成17年度に開催される会議において討議される予定である。

3 開催時期、会場及び参加国数等

平成17年度会議の開催時期は平成17年9月を予定している（会場及び参加国数は未定）。

なお、平成11年度から平成14年度にかけて日本において4回開催された「バイオテクノロジー応用食品部会」には、各回約40カ国及び約20NGOの計約300名が参加している。